

避難促進施設における 防災訓練の実施状況

活動火山対策特別措置法

(避難確保計画の作成等)

第八条 第六条第一項の規定により市町村地域防災計画にその名称及び所在地を定められた同項第五号の施設（以下この条において「避難促進施設」という。）の所有者又は管理者は、単独で又は共同して、内閣府令で定めるところにより、避難訓練その他火山現象の発生時における当該避難促進施設を利用している者の円滑かつ迅速な避難の確保を図るために必要な措置に関する計画（以下この条において「避難確保計画」という。）を作成しなければならない。

2 避難促進施設の所有者又は管理者は、避難確保計画を作成したときは、遅滞なく、これを市町村長に報告するとともに、公表しなければならない。当該避難確保計画を変更したときも、同様とする。

3 避難促進施設の所有者又は管理者は、避難確保計画の定めるところにより避難訓練を行うとともに、その結果を市町村長に報告しなければならない。

4 市町村長は、前二項の規定により報告を受けたときは、避難促進施設の所有者又は管理者に対し、火山現象の発生時における当該避難促進施設を利用している者の円滑かつ迅速な避難の確保を図るために必要な助言又は勧告をすることができる。

5 避難促進施設の所有者又は管理者の使用人その他の従業者は、避難確保計画の定めるところにより、第三項の避難訓練に参加しなければならない。

6 避難促進施設の所有者又は管理者は、第三項の避難訓練を行おうとするときは、避難促進施設を利用する者に協力を求めることができる。

集客施設等における噴火時等の避難確保計画作成の手引き（第3版） p14

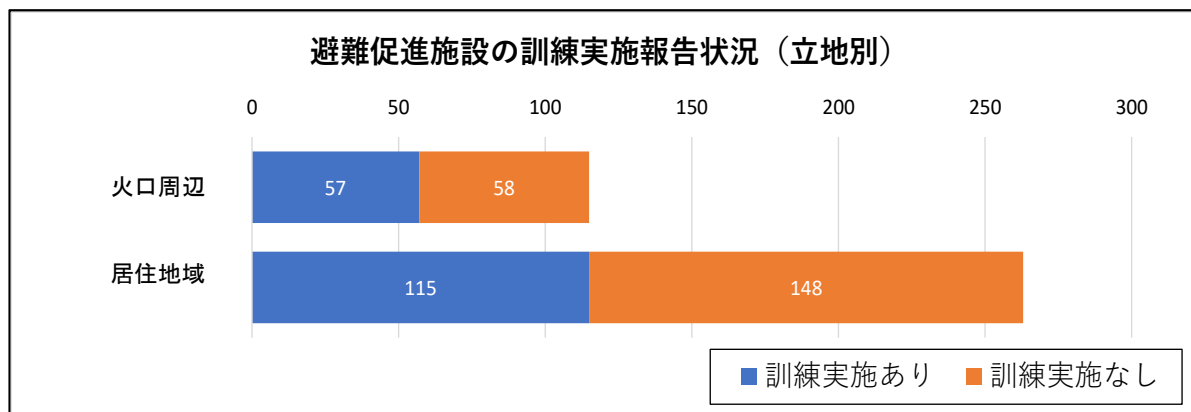
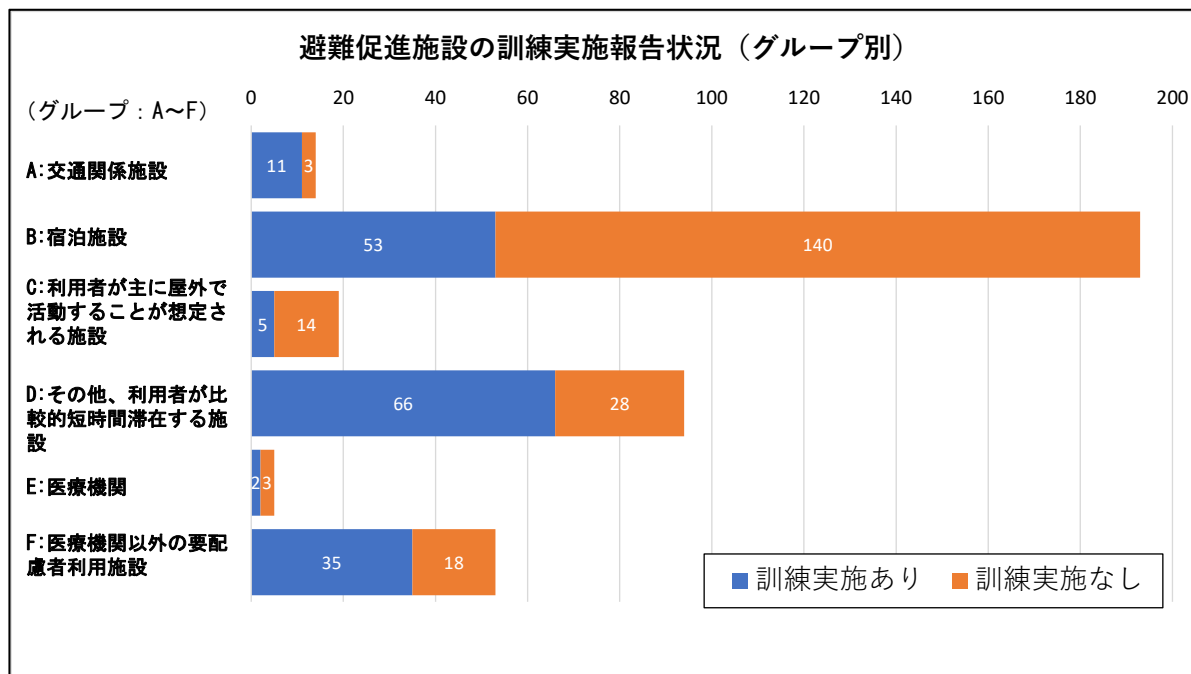
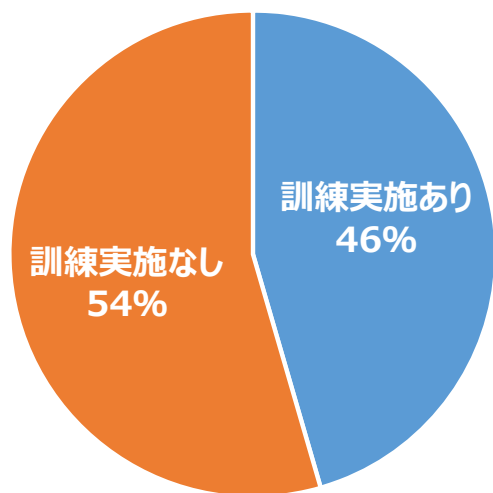
(7) 避難訓練の実施と計画の見直し

- 防災対応を円滑かつ迅速に実施するためには、施設の従業員等が日頃から避難確保計画に習熟しておく必要がある。そのためにも避難訓練の実施が重要である。
- また、市町村との情報共有を進めるためにも、火山防災協議会や市町村が開催する研修会や避難訓練に積極的に参加することも重要である。
- 避難確保計画がより実践的なものになるよう、避難訓練を通じて、計画を検証し見直しを行うことが必要である。

避難促進施設の火山避難訓練の実施状況

避難確保計画を作成済みの避難促進施設のうち、活火山法に基づく避難訓練の実施報告がある施設は378施設中172施設（46%）で、約半数の施設では訓練が実施されていない。特に宿泊施設では訓練実施率が27%と低く、7割以上の施設で実施されていない。

避難確保計画作成済み378施設を対象にした調査（令和3年9月30日現在）



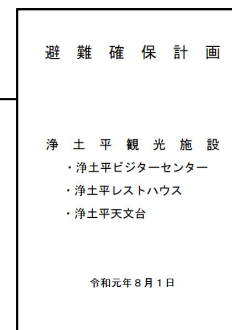
避難促進施設が参加した火山避難訓練の事例（火口周辺）【吾妻山】

<訓練概要>

- 1) 実施日 : 平成30年4月6日（金）
- 2) 訓練内容 : 吾妻山で突発的な小規模噴火が発生した場合を想定した観光客等の避難誘導訓練、応急救護訓練、防災アプリを活用した「自治体からの緊急情報」として「訓練噴火速報」を配信。
- 3) 実施場所 : 浄土平周辺（福島市）
- 4) 参加機関 : 吾妻山火山防災協議会のうち福島県、福島市、避難促進施設（3施設）など
- 5) 付記事項 : 避難訓練は、ほぼ毎年実施

避難促進施設の避難訓練の内容

- ・ 噴火の際の噴石や火山灰から観光客等の安全を守るため、観光施設の職員が屋内へ避難を誘導する一次避難、噴火が小康状態になったことを確認して浄土平から土湯方向へ避難させる二次避難を実施。
- ・ 避難者が受傷したことを想定し、観光施設の職員が福島市消防本部の指導を受けて応急救護訓練を実施。



避難促進施設の
避難確保計画

避難促進施設（浄土平の3施設）と火口の位置関係

吾妻山（一切経山）



避難促進施設の避難誘導訓練・応急救護訓練の状況



(周辺散策路からの観光客の避難誘導の様子)



(堅牢な建物への避難誘導の様子)



(情報伝達の様子)



(応急救護訓練の様子)

避難促進施設が参加した火山避難訓練の事例（火口周辺）【那須岳】

＜訓練概要＞

- 1) 実施日 : 平成27年11月5日、平成29年1月31日
- 2) 訓練内容 : 図上訓練及び実働訓練 (H27)、入山規制訓練・避難訓練 (H29)
- 3) 実施場所 : 那須ロープウェイ (避難促進施設) ほか
- 4) 参加機関 : 火山防災協議会を構成する機関 (訓練内容に応じて地元の小学校なども参加)
- 5) 付記事項 : 避難訓練は平成25年度以降、国 (砂防事務所) や防災科研と連携して、情報伝達訓練、入山規制訓練、観光客や登山者の避難訓練など内容を変えながら毎年訓練を実施。

観光客・登山者向け情報伝達・避難に関する対応

○観光客への対応

- ・「登山者向け火山防災マップ※」を掲示・配布、噴火時の対応等についての注意喚起 (※携帯端末電波状況図等を掲載)。
- ・噴火時には、各施設の建物内等の安全な場所に誘導。

○登山者への対応

- ・登山道入口に「立ち入り規制看板」「通行禁止看板」を掲示。
- ・避難小屋に「火山防災マップ」を掲示、火口 (噴気帯) 付近への立ち入り規制。
- ・避難小屋には、緊急時ヘルメットを配備し、噴火時の登山者用の「地点別避難ルート」の周知、噴火時の行動マニュアルを整備。

那須ロープウェイ (A:交通関係施設)

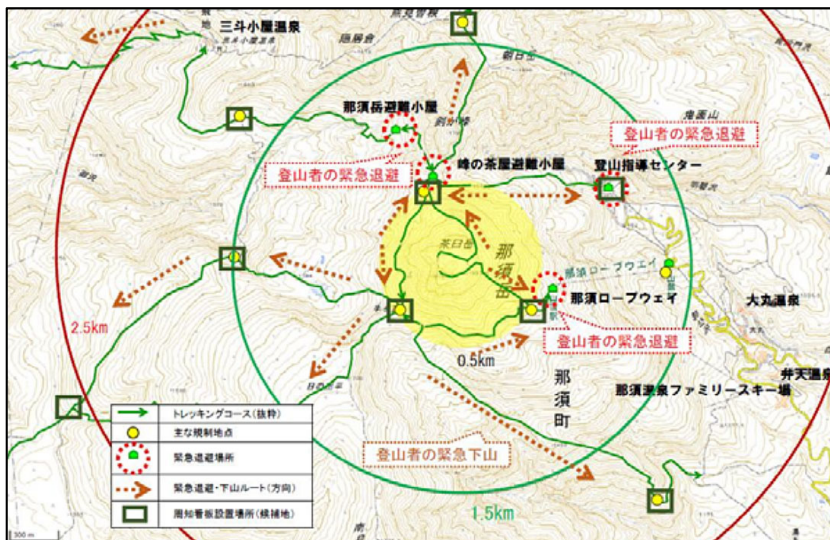


(那須ロープウェイでの避難訓練の様子)



(火山防災協議会関係機関での図上訓練の様子)

突発的に噴火した場合の緊急退避・下山ルート



那須岳火山防災マップ (登山者用)



火山防災協議会に参画する火山専門家等の連携会議(第5回)配布資料(資料2-1) http://www.bousai.go.jp/kazan/senmonka/pdf/dai5kai/siryo2_1.pdf
 那須岳火山防災協議会「那須岳の噴火活動が活発化した場合の避難計画 別記 登山者・観光客の避難対策」 <https://www.town.nasu.lg.jp/manage/contents/upload/5b29aadccbab.pdf>
 那須岳火山防災マップ(登山者用) <https://www.town.nasu.lg.jp/manage/contents/upload/59f80d076b1b7.pdf>

避難促進施設が参加した火山避難訓練の事例（居住地域）【アトサヌプリ】

<訓練概要>

- 1) 実施日 : 平成30年10月15日（月）
- 2) 訓練内容 : アトサヌプリ（硫黄山）が噴火した場合を想定した教職員・生徒の避難訓練
- 3) 実施場所 : 川湯小学校（弟子屈町）
- 4) 参加機関 : 弟子屈町、川湯小学校（教職員10名、生徒45名：避難促進施設）
- 5) 付記事項 : 他の避難促進施設（川湯中学校等）を対象に他年度に実施。

訓練避難訓練の内容（コンセプト）

- ・アトサヌプリ（硫黄山）が噴火した場合を想定して、教員の指示の下、的確に避難する為の技能や判断力を身につける。

川湯小学校（F:医療機関以外の要配慮者利用施設）



（教職員による避難の呼びかけ）



（2階から廊下沿いに1階に避難）



（階段を降りて体育館に向かう）



（体育館の地下室へ移動する）



（体育館の地下室で避難乗車区分を指示）



（体育館から車両待機位置へ移動）

避難促進施設が参加した火山避難訓練の事例（居住地域） 【桜島】

<訓練概要>

- 1) 実施日：令和3年11月20日（土）
- 2) 訓練テーマ：「大規模噴火を想定したタイムラインに基づく、避難完了板を活用した桜島住民主体の避難訓練」
- 3) 実施場所：桜島全域、桜島港フェリーターミナル、南栄リース桜島アリーナ
- 4) 参加機関：68団体（鹿児島市、消防団、市民（桜島地域）、県、陸上自衛隊、海上自衛隊、海上保安部、県警察本部、避難促進施設（6施設）、鹿児島大学など）
- 5) 付記事項：避難訓練は毎年、訓練テーマを変えて実施。

避難訓練の内容（コンセプト）

【地域での取組】 タイムラインに基づき避難完了板を活用した住民主体の避難訓練

【避難促進施設での取組】 タイムラインに基づいた観光客の避難誘導及び施設閉鎖

【全体総括的な取組】 防災関係機関等による自助、公助で対応困難な要支援者等の避難支援

訓練実施状況

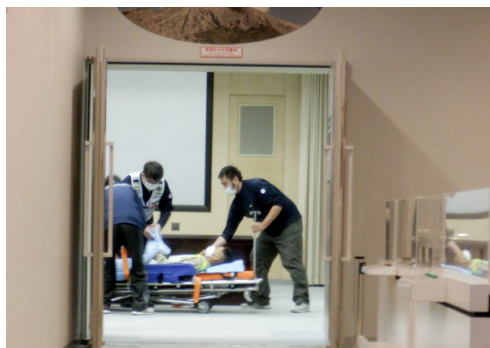
観光施設（桜島国際火山砂防センター）



（観光客（役）の避難の様子）



（観光客（役）の避難の様子）



（傷病者の緊急搬送の様子）



（ヘリによる傷病者の緊急搬送の様子）

② 避難促進施設（観光施設）の避難訓練

09:30～10:30

- 1 各施設において観光客の避難誘導
- 2 施設の閉鎖処置及び閉鎖完了（想定）を施設所管課に報告

※各避難促進施設等は、利用者等について下表に基づき報告を行う。

避難促進施設	施設所管課	緊急退避者数			うち 負傷者数
		利用者数	従業員数	合計	
①国民宿舎 レインボー桜島	観光振興課	7			1
②桜島ビジターセンター	観光振興課	6			0
③桜島海づり公園	生産流通課	5			0
④火の島めぐみ館	グリーンツーリズム 推進課	6			0
⑤旅の駅桜島物産館	世界遺産・ジオパーク 推進課	6			0
⑥桜島国際火山砂防 センター	危機管理課	7			1

※各避難促進施設等の計画に関する詳細は別添付資料を参照してください。

※観光客役（ビブス着用）
・鹿児島医療技術専門学校生（35名）

宿泊施設（国民宿舎レインボー桜島）



（宿泊客・観光客（役）の避難誘導の様子）



（傷病者の緊急搬送の様子）

